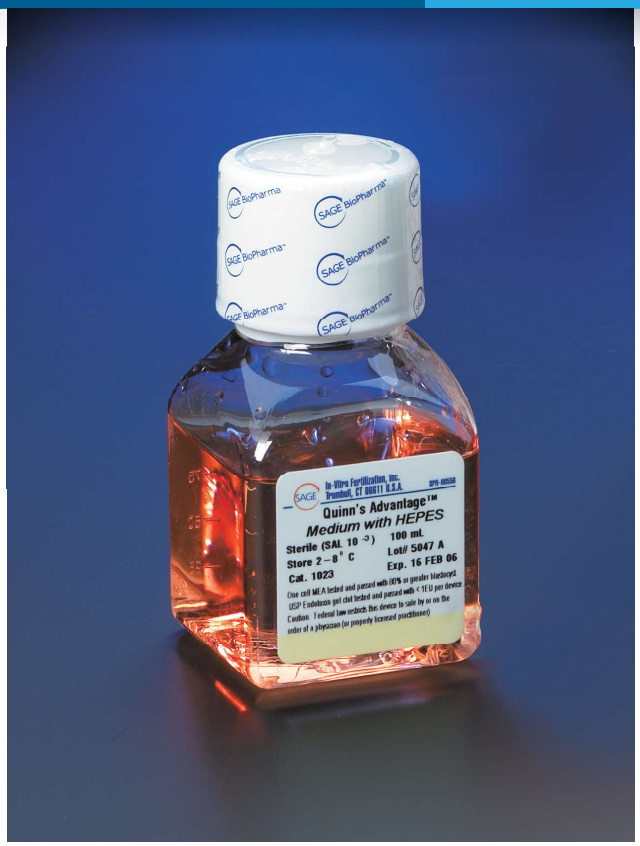
Quinn's Advantage® Medium with HEPES



Quinn's Advantage® Medium with HEPESは精子調整や胚の操作等の工程を、インキュベーターを必要とせずに使用できるメディウムとして開発されました。Quinn's Advantage® Medium with HEPESは、Quinn's Advantage® Fertilization MediumにHEPESを含有させた製品です。

特徴

- Quinn's Advantage® Fertilization Mediumの 組成からリン酸塩とクエン酸、EDTA、タウリンを含む非必須アミノ酸、安定型アラニルグルタミン、マグネシウム、乳酸カルシウムの配合を変更

培地組成

- Sodium chloride
- Potassium chloride
- Magnesium sulfate
- Potassium phosphate
- Calcium lactate
- Sodium bicarbonate
- HEPES
- Glucose
- Sodium pyruvate
- Alanyl-glutamine
- Taurine
- L-Asparagine
- L-Aspartic acid
- Glycine
- L-Proline
- L-Serine
- Sodium citrate
- EDTA
- Gentamicin
- Phenol red

品質管理項目

- 無菌テスト済み
- pHテスト済み
- 浸透圧テスト済み
- エンドトキシンテスト済み
- ゲンタマイシン測定済み
- マウスエンブリオアッセイ（MEA）済み
- 有効期限は製造日より12ヶ月

カタログ番号	製品名	容量	保存温度
ART-1023	Quinn's Advantage® Medium with HEPES	100 ml	2～8℃

※本商品は薬事法の定めるところの「医薬品」「医薬部外品」ではありません。また、ヒト、動物の診断あるいは治療用として用いるものではありません。

ARTにおけるSAGE培養液の調整方法と使用方法

ディッシュの調製　下表に従って、培養液にタンパク質を添加してください。

培養液	用途	培養液の使用量（ml）	タンパク質の添加量（ml）
Quinn's Advantage® Medium with HEPES（ART-1023）	卵子卵丘細胞複合体（COC）の洗浄	60mm径ディッシュに10 ml	0
Quinn's Advantage® Medium with HEPES（ART-1023）+HSA	・COCの卵丘細胞除去 ・Day 1における受精確認	9.5 ml センターウェルディッシュのセンターウェルに1.0ml（オイルで覆う）、周囲の溝に5.0ml（HSA無添加）載せる。	ヒト血清アルブミン（HSA）0.5 ml
Quinn's Advantage® Fertilization Medium（ART-1020/ ART-1021）+HSA 又　はQA Protein Plus Fertilization Medium（ART-1520）	・顕微授精前の卵母細胞培養 ・媒精	9.7 ml 各30μlを60mm径ディッシュに10ヵ所のドロップを作製し、オイルで覆う。胚の単一培養の場合には各10μlのドロップを作製する。	HSA：0.3ml
Quinn's Advantage® Cleavage Medium（ART-1026）+SPS（ART-3010/ ART-3011） 又はQA Protein Plus Cleavage Medium（ART-1526）（注2を参照）	Day 1～ Day 3の胚培養	9.0 ml 各30μlを60mm径ディッシュに10ヵ所のドロップを作製し、オイルで覆う。胚の単一培養の場合には各10μlのドロップを作製する。	代替ヒト血清（SPS）1.0 ml
Quinn's Advantage® Blastocyst Medium（ART-1029）　＋SPS（ART-3010/ ART 3011） 又はQA Protein Plus Blastocyst Medium（ART-1529） 又はQA Protein Plus Blastocyst Medium with Insulin（ART-1729）	Day 3～ Day 5/6の胚培養	9.0 ml 各30μlを60mm径ディッシュに10ヵ所のドロップを作製し、オイルで覆う。胚の単一培養の場合には各10μlのドロップを作製する。	SPS：1.0 ml
Quinn's Advantage® Medium with HEPES（ART-1023）+HSA 又はSPS（ART-3010/ ART-3011）	胚移植	HSA添加時：7.0 ml SPS添加時：5.0 ml センターウェルディッシュのセンターウェルに1.0ml（オイルで覆う）、周囲の溝に5.0mlを入れる。	HSA：3.0 ml SPS：5.0 ml

注意：Protein Plus Mediumシリーズ（ART-1520 /ART-1526 /ART-1529 /ART-1729）は、Quinn's Advantage® Mediumシリーズ（ART-1020 /ART-1026 /ART-1029）にあらかじめタンパク質を添加したものです。したがって、ユーザーがタンパク質を添加する必要はありません。

注意1：重炭酸緩衝系培養液（Quinn's Advantage® Fertilization / Cleavage / Blastocyst Medium及びProtein Plus Fertilization / Cleavage / Blastocyst Medium - カタログNo. ART-1020 / ART-1026 /ART- 1029及びART-1520 / ART-1526 / ART-1529 / ART-1729）は、5%CO2気相下で4時間～一晩平衡化させた後にご使用ください。培養液ボトルのフェノールレッドpH指示薬が赤紫に変色した場合には、5%炭酸ガスを含む混合ガスボンベに取り付けた滅菌済み綿栓付き1.0-mlピペットからガスを吹き込み、培養液のpHを調整してもかまいません。タンパク質含有培養液では、無菌操作手順を遵守し、通気しすぎないように注意してください（混合ガスの吹き込みは培養液の表面のみとし、培養液の中まで通気しないこと）。HEPES添加培養液は、炭酸ガス下で平衡化させる必要はありません。

注　意2：Quinn's Advantage® Cleavage Medium（＋50 mg/ml SPS）又　はProtein Plus Cleavage Medium（SPS添加済み）をヒト卵母細胞の保存、IVFの媒精、Day 4以降の培養に使用して良好な結果が得られたという事例報告があります。また、Cleavage MediumでDay 5/6の胚盤胞期まで培養したときにも、やはり満足できる結果が得られたと報告されています。

これらの方法を実際の診療に採用するかどうかは、各施設がその妥当性を事前に十分検討した上で決定すべきことです。ただし、こうした方法を採用する場合には、Day 3又はDay 4にCleavage Mediumを新鮮なものに交換することが推奨されます。Day 3又はDay 4に培養液を交換せずに胚培養が可能かどうかは、更なる研究が必要です。